

## ICT 活用による業務の効率化

中核校	厚沢部町立厚沢部小学校	指定校	厚沢部町立館小学校、厚沢部町立鶉小学校 厚沢部町立厚沢部中学校
-----	-------------	-----	------------------------------------

### 実践前の状況

- ・教職員間の情報共有が十分ではなかった。
- ・保護者への必要な連絡が、全ての保護者に伝わるまでに時間を要することがあった。

### 実践の概要

#### ICT 活用による情報共有体制の確立

- ・校務支援システム上の連絡機能を活用することで、各教職員からの情報発信や職員間の連絡の効率化を図った。
- ・共用データベースを活用することで、印刷物で保存していた校務文書をデジタルデータ化して一元で管理・活用するなど情報共有体制を整備した。
- 一斉配信メールシステムによる連絡体制の確立
- ・一斉配信メールを活用することにより、保護者へ短時間で情報を配信するなど、連絡体制を整備した。併せて、家庭へ連絡する際の配付物をデジタル化するなど印刷業務の削減を進めた。
- ・欠席の連絡方法を、一斉配信メールの欠席連絡機能の活用に変更したことで、電話対応に係る業務の軽減を図った。

#### 【連絡機能の利点】

- ・軽微な打合せを削減できる。
- ・連絡事項が記録として残る。
- ・個人間の連絡がしやすい。
- ・ファイル添付により詳細な連絡ができる。

#### 【メール活用の利点】

- ・印刷及び配付の必要がない。
- ・確実に保護者に届く。
- ・ファイル添付により詳細な連絡ができる。
- ・朝の欠席対応の時間が軽減できる。

### 実践の充実に向けた取組の工夫

#### 〔校長の取組〕

- ・業務の効率化による各種作業量の軽減により学校力の向上が図られるよう、校長として業務の効率化についての方針を明確に示した。また、教頭や主幹教諭、各分掌部長等、ミドルリーダーとして位置付けられる教職員を核として、効率化を意識した業務改善が軌道に乗るよう取組の充実を図った。

#### 〔総合推進部の取組〕

- ・校長、教頭、主幹教諭、各分掌部長で構成させる総合推進部が中心となって業務の効率化について検討し、実際の業務に反映されるよう取り組んだ。特に、ICT 活用による業務の効率化の可能性を検討するとともに、様々な具体策を提示し、ICT を活用した業務改善を進めた。

### 成果（ ）と今後の課題（ ）

ICT を活用した情報共有体制を整備し、着実な情報伝達や文書情報等の共用を図ったことで業務の効率化が進んだ。

一斉配信メールにより保護者へ効率的な各種連絡及び、配付物印刷に係る業務が軽減された。また、欠席連絡機能の活用で欠席連絡受付に係る業務の軽減が図られ、業務の効率化が進んだ。〔学校評価（働き方改革）の「総合推進部を中心に、働き方改革のプロセスが推進されている」の項目において、肯定的に回答した教職員の割合が100%となった。〕

今後は、一層の業務の効率化につながる ICT の活用を検討するとともに、全教職員による活用が進むよう、学校組織や学校運営で積極的に ICT を活用していく必要がある。